

緑地を楽しむ本

## 『ぼく、ちきゅうかんさつたい』

松本聡美・作 ひがしちから・絵  
出版ワークス



タッタ タッタ…「ただいまーっ！」ぼくはおじいちゃん  
の部屋へまっしぐら。今見て  
きたこと、感じたことをベッドで  
寝たきりのおじいちゃんに報告  
します。おじいちゃんはちきゅう  
かんさつたいごっこの隊長、  
僕は隊員1号だから。“土手に  
タンポポが咲いたよ”、“ダイちゃんが意地悪な  
んだ”…。

おじいちゃんは何でも聞いてくれます、そして、  
寝たきりなのに、部屋に入ってきたクモを見せてく  
れ、説明もしてくれました。こわかったクモも、よ  
く観察すると親しみがわいてきて、隊員2号(犬の

らんまる)に次ぐ、隊員3号にしてあげました。

こいのぼりが空に泳ぐ頃、おじいちゃんは「宇宙本  
部の隊員に選ばれるかもしれない」と言いました。  
「ちきゅうかんさつたい はっけんノート」と虫めがねを  
くれ、「しっかり観察してくれたまえ。」「了解！」

おじいちゃんとの交流を通して、ぼくはよーく観察  
することを学び、素敵な宝物をいっぱい発見しまし  
た。そして本書を読んだ私は、年をとっても、寝た  
きりになっても、自然や生き物にわくわくし、孫と一  
緒に楽しめるのだということを知りました。

西緑地には素晴らしい自然が残っています、ぜひ  
孫と一緒に楽しみたいものですね。

(小川)